

- ・学習者の学びたいと思ってることを把握し、対応する
- ・日本の暮らしの中で不便・不都合なことがないか聞き取る
- ・学習者を尊重する
- ・学習だけではなく、教室が交流の場、居場所となるよう意識している
- ・親元を離れて来日している学習生に対し、親代わりとなって見守るという気持ちをもつこと
- ・悩みを聞いてあげることもするが、個人プレーにならないように他の指導員とも相談しあうこと
- ・教室に来られる方のニーズや環境は人それぞれで、一律化していない。どんな方が来られても、対応できるように1人の学習者に1人の支援者がつくようにしている。さらに学習者の学習進度が把握できるように学習者個々の記録をつけている
- ・日本語を学びたい人のために、ボランティアで日本語学習のお手伝いをしています。また、会員相互の下、研修に努め、共に学ぶボランティアの会をめざしています
- ・活動の柱：①外国人への日本語学習支援とそのための支援者研修を実施する  
②各種会合を開催し、学習者と支援者の交流と親睦を図る
- ・日本語を学習することで、日本での生活を豊かにして欲しい
- ・学習者の学習熱意に応える
- ・日本語ができないために生活するうえで困っている方を対象として開催している本事業だが、ニーズの変化にも都度対応するようにしている。例：日本語能力検定試験を受けたいという学習者が多ければ、テスト日程前は試験対策を行う。授業を受けている上で簡単すぎる、難しすぎるなどの要望があれば都度相談してその方にあったレベルのクラスへの移動を提案するなど。また、学習支援者として活動を希望する方からの問い合わせがあれば、何とか工夫して参加していただけるように努める
- ・学習者一人一人のニーズに応じた日本語学習支援
- ・生活や仕事、就職、コミュニケーションに使う日本語に困っている人がいれば少しでも助けになれるよう心がけている
- ・なぜ、日本語教室が必要なのかを考えた上で、外国人だけでなく地域の日本人の方々など必要な人に届けて行きたいと考えています
- ・障がい者差別により、奪われた経験・学習を取り戻す。字を知らなくても胸を張って生きる地域を作る
- ・学習者と支援者は対等な立場であることを念頭に置き、相手の人格を尊重する態度、言動（言葉づかい）、を心がける。また、学習者の国の習慣や価値観を尊重し、日本の価値観や習慣の押し付けは控える
- ・学習者の意思を尊重し、無理に「教えよう」とし過ぎないようにする
- ・支援者は、自分の外国語訓練の場と間違えない
- ・支援者は、特定の学習者との偏った対応は避け、学習者とは広くコミュニケーションをはかる
- ・学習者の連絡先などのプライバシーは守る
- ・学習者のニーズに合わせた学習内容に配慮するとともに日本の風俗習慣をしってもらい 安全安心な生活ができるよう配慮する
- ・日常生活に必要な日本語を楽しく学べる場とする
- ・楽しく、粘り強く学習を続けることを大切にしながら次の目標の達成に取り組む
  - ① 文字を取りもどし、新しい自分を見つけよう
  - ② 仲間づくりを進め、共に高めあおう
  - ③ 国際識字年の意義を生かした識字運動を共に広げよう

- ・在日韓国・朝鮮人一世の歴史を理解する。時の流れの中に埋もれてしまわないように、学習者自身（当事者）が正しい歴史を学ぶ。学習支援者は、教室で学ぶ一世から、その体験や想いを記憶し記録しながら学ぶ
- ・皆勤賞を発行している。課題の答え合わせで全員が発言できるように心がけている
- ・外国人が生活していくために必要な日本語の力をつける支援をすること
- ・教室に来ることが外国人の交流になり、安心・安全に暮らすための情報を得ることができること
- ・学習支援者がお互いの違いを認める機会を得ることができること
- ・学習者の希望にあわせて自立学習をサポートするよう心がけている
- ・学習者一人ひとりの要望に対してキメ細かに対応すること、様々な情報を全体で共有すること
- ・様々な情報を全体で共有すること
- ・「外国人住民の自立促進」「異文化理解への啓発」の二つを柱として、多文化共生社会の実現に向けて取組みを行っており、人種、国籍、文化的背景などに関係なく、一個人としてお互いを理解し、認め合いながら、人と人との交流を大切にしています
- ・日本語交流は、外国人住民支援活動だけでなく、ボランティアも異文化理解を深めながら日本語学習をサポートしており、ボランティアと学習者、お互いが先生と生徒という関係ではなく、同じ視点での関係性であること、また、互いの文化を知り、尊重しあえる関係性を育む場としての意識を大切にしています
- ・運営にあたっては、活動において困ったとき一人で悩まないよう、ボランティア、そして学習者、双方への声かけを大切にしています
- ・差別・貧困等による理由で学習の機会を制約された「よみ・かき・ことば」を必要とする市民がいらっしやいます。そのような市民を対象として、日常生活や仕事に必要な暮らしに役立つ日本語を学ぶ等の学習を継続して行い、生涯学習の土台となる力の向上を図ることを目指しています
- ・1年間の目標を個人で設定し、目標をもって学習に取り組むようにしています
- ・①中国の人が日常生活や仕事に必要な、暮らしに役立つ日本語を学べる場所であること  
②府営住宅がいつそう暮らしやすくなるよう、いろいろな自治活動に参加することを応援する  
③日本語の力に関係なく、誇りをもって生きられるようになることをめざす  
④うまく日本語を話せないと思っている人も安心して来て話せる、居心地のいい場所でありたい  
⑤①～④の目標実現のため、気持ちや考えを出し合いながら、みんなでいっしょに学ぶ全体学習会をもつ
- ・高度な技量を持つ講師による専門的な教育を、無料で地域の学習者に提供できるようにしている
- ・学習者とボランティアの対等な関係
- ・学習者の学習の場であり居場所であること
- ・学習者のプライバシーをいろいろ聞かないこと
- ・①支援者が学習者のプライベートに踏み込みすぎない  
②支援者と学習者が可能な限り、対等な関係をつくる
- ・学習者のニーズに合わせて指導方針を決定すること
- ・日本語サロンに来ることにより、日本語を習得するだけではなく、生活や文化、職業など様々な情報を交換して共有することができること
- ・学びに来る在留外国人にとって、ホッとできる場所であること
- ・学習者や支援者にとって「ほっと」できる場であり、何でも話し合える場

- ・文字の習得だけでなく、社会生活に必要な力、自分自身に自信をもって生きていく力を身につけることを大切にしています
- ・学習者のニーズに応じた教材を用意し学習しやすくしている。教室に来るのが楽しいと思える雰囲気づくりを行っている
- ・海外から来ている学習者が、日本の生活に馴染めるように、日本語だけでなく生活面の支援もしたいと思っています
- ・学習者の学びたいという気持ちに沿って学習を進める
- ・①融通無碍の精神 ②わがまちで暮らす外国人が、日本語でコミュニケーションできるように支援すること
- ・日本語のサポートと日ごろマイノリティとしてストレスの多い学習者がほっとできる場を提供したい
- ・規模が小さくても良い人間関係を保ち、できるだけ楽しく活動していきたい
- ・講習講座的な活動ではなく、居場所、共同体としてのつながり
- ・学習者が遠慮なく分からないことや教えてほしいことを言える環境づくり
- ・日本できちんと生活ができるようにしてあげたい
- ・個々にあった必要とする日本語を教えたい
- ・マンツーマンが基本だが、学習者が学習支援者の人数を上回る場合でも、断らず受け入れている
- ・学習者が今一番困っていること、一番必要としていることから取り組んでいく
- ・学習支援者は日本語学習だけでなく、仕事や生活面での相談を受けるなど心の支えにもなっている。また、学習に加え茶道を通して日本文化に触れてもらう機会をつくったり、料理を企画するなど、学習者・学習支援者がスムーズにコミュニケーションが図れるよう工夫している。さらに、このような取組から公民館が学習者・学習支援者の居場所となることを目的とし講座運営を行っている
- ・ことば(日本語)を通して、日本の生活・習慣に馴染めるよう努める
- ・識字学級生の仲間づくりと、多くの識字生の皆さんとの交流の機会を大切にしていきたい
- ・地域に暮らす外国人が、生活者としてなじめるように、日本語の習得のお手伝いをしています。ただ、日本語を勉強するのではなく、いろいろな日本人の人と関わられるように、イベントに参加したり、地域になじめるお手伝いをしています
- ・これまで生活に必要な文字・ことばの学習の機会が少なかった人々に対し、成人基礎を保障し自己学習の力を高めることにより、学習者の自立を支援するものです。学習者は日々の学習の中で、理解の場を持ち、そのような活動を通して、部落差別をはじめとする様々な人権問題を学習することにより、差別のない明るい社会の実現に向けて実践しています。また、日本語教室では単に日本語を学ぶだけでなく、日本語教室が学習者の心のよりどころとなるよう、学習者と支援者の人間的なつながりを深めることを重視しています
- ・日本で生活するうえで一番大切な友人を作る場だと思っています。もし困っておられる方がいらっしゃれば支えたいです
- ・学習者の生活全般をサポートしていくこと
- ・基本的には日本語学習・日本語能力の向上に重きをおいた日本語教室ですが、加えて地域のボランティアさんを交えた会話練習や課外活動なども実施し、帰国者同士の親睦だけでなく、中国帰国者と地域の一般の方たちとの相互理解を深めることも念頭において運営しています。帰国者が言葉ができないからと引きこもらず、孤立せずに地域に溶け込んで暮らせるようにとの思いを大切にしています